

ロービジョン支援センター便り

クローバー

秋田県立視覚支援学校
ロービジョン支援センター
平成30年4月28日発行
第1号

「見る」ということ

ロービジョン支援センター長 長崎 雪子

早いもので、本校の地域支援活動が「ロービジョン支援センター」という名称になってから7年目を迎えました。今年度も、関係の皆様のご指導、御協力をいただきながら、見えない・見えにくい方、保護者、関係者の皆さんへの相談支援や情報提供、そして視覚支援に対する理解啓発活動について取り組んでいきたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

さて、「ロービジョン支援センター」の「ロービジョン」ですが、まだまだ耳馴染みのない方が多いようで、意味について質問されることがあります。ロービジョン (Low vision) とは、低視力や視野が狭いなどのために見えにくい状態のことをいい、「弱視」と訳されることもあります。本校のロービジョン支援センターでは、上記の弱視の方だけでなく見えにくい方全般を支援の対象者と考えております。

見えにくさは、その人その人で違っており、見え方を踏まえた支援が必要となります。私たち視覚支援学校の職員は、見えにくい方がどのように見えているのかを知っていると誤解されることがありますが、「見る」ということは、感覚であり本人の感じ方なので、残念ながら分かりません。でも、視機能の検査や学習の様子、見る対象への反応等を観察して、「この状況で、これは見える」という見える状況を見つけていくことはできます。教育相談では、実態把握から分かったことを基に視覚支援の様々な情報を提供し、見える状況づくりのお手伝いをします。

同じように、「見える」ということも、感覚であるため人によって違います。見えるかどうかを確かめるために、「これ、見える？」と質問したことはあるでしょうか。聞かれた人が「見える」と答えたとしたら、それはどのくらい見えているのでしょうか。ぼんやりと、あるかないか分かるくらい、はっきりと明瞭に等、様々な「見える」があり、それはとても曖昧です。それでは、どのように質問すると明確な答えが返ってくるのでしょうか。「見える？」ではなく、「何が見える」のかを問い掛けてみるのも一つの方法ではないかと思っております。例えば、文字ならば、読めるかどうかは一つの指標となるでしょう。

今回、「見る」「見える」ということについて、お伝えしましたが、ロービジョン支援センターでは、一人一人の見え方について一緒に考え相談し、支援していきたいと思っております。不安に感じていること、気になっていることがある方、保護者、関係者の皆様は、お気軽に御相談ください。



ロービジョン支援センター～各班の取り組み～

【教育相談部門】

<乳幼児支援班>

乳幼児支援班では、0歳から就学前までのお子さんと保護者の方、関係機関の方を対象に、子育てや保育、発達に関する相談・支援を行っています。「よつば教室」（定期教育相談）では、一人一人の発達段階に応じた遊びの中で、「見る」「確かめる」楽しさや、保有視覚・感覚を十分に活用する体験を大切にしています。個々のニーズや課題に基づいて支援内容や回数を決め、相談・支援にあたります。

保護者の方に対しては、育児相談や保護者学習会を企画し、お子さんの生活の充実と進路について一緒に考えていきます。幼稚園・保育園等に対しては、お子さんのより良い環境づくりや進路選択について、関係機関と連携しながら支援にあたります。

今年度は8月1日（水）に「ちびっこサマースクール」を実施し、お子さんには様々な感覚を使う楽しさを味わう活動を、保護者・関係機関の方々には、個別面談や学習会の場を提供する予定です。



<児童生徒支援班>

県内の小・中学校等に在籍する児童生徒の皆さんや保護者の方、担任の先生を対象として、視覚補助具の使い方や目と手の協応動作、主体的に情報を入手するための方法など、視覚に関する様々な情報提供を行っています。「センター教室」では県央地区を、「サテライト教室」では県北、県南地区での指導や支援を行います。

今年度は、8月4日（土）に「サマースクール」を行う予定です。児童生徒の皆さんが互いに交流しながら、五感を使ったり視覚補助具を活用したりできるような活動を計画しています。また、保護者や関係者の方々を対象とした学習会も行う予定です。



<生活情報支援班>

視覚に障害のある成人の方に対する相談・支援活動を行っています。

視覚支援や情報提供を行う「あいサポート教室」では、火曜日と木曜日を開講日とし、「音声パソコンなどの情報機器の操作」、「白杖や手引きによる歩行訓練」、「便利グッズや電子レンジを使った調理」などについて学ぶことができます。受講生や卒業生が交流する機会として、あいサポート教室合同講座を実施しています。今年度は、フラワーアレンジメント（6月19日）や調理活動（11月頃）を計画しています。



【地 域 支 援 部 門】

＜研修支援班＞

研修支援班では、視覚障害の理解啓発や、視覚障害児者を支援する方々を対象とした研修会等を実施し、支援を行っています。主に視覚支援担当者への研修会、白杖歩行・生活サポート講習会、サマースクール、ウィンタースクールの保護者学習会、福祉授業、ボランティア養成講座などを実施します。

視覚支援担当者研修会では、地域に在籍する子どもたちの指導に関わる教師や保護者の方々を対象に、見え方や学習環境などについて情報交換を行います。白杖歩行・生活サポート講習会では、山王ライオンズクラブの方々と協力し、地域の視覚障害の方を対象に、日常生活の様々な場面におけるスキルアップを目指し、白杖歩行体験や調理体験を中心とした講習会を実施しています。サマースクールでの保護者学習会では、公共の交通機関の利用についての情報交換を行っています。

福祉授業では、小中学生を対象に、視覚障害疑似体験、点字体験などを通して、視覚障害について理解啓発を行います。

ボランティア講座では、視覚障害者の見え方の違いについての講義や点字等の体験を通して、視覚障害の方々を支援するボランティア養成につなげています。

今年度の取り組みとしては、4月27日(金)秋田大学の授業協力、5月30日(水)に視覚支援担当者研修会、6月9日(土)に白杖歩行・生活サポート講習会、8月にはボランティア講座、サマースクールの保護者研修会などを予定しています。こうした活動を通して広く啓発を進め、支援に努めていきたいと考えています。



＜広報班＞

ロービジョン支援センター報「クローバー」（本紙）の発行と学校ホームページ上での情報発信を行っています。教育相談の様子、視覚支援機器等の情報、書籍の紹介など、相談や支援をする上で参考となる情報の掲載に努めていきますのでご活用ください。

御相談のお問い合わせは

秋田県立視覚支援学校 ロービジョン支援センターへ御連絡ください。

相談支援担当 長崎雪子・渡部麗子・佐藤加奈子・佐藤友紀子

〒010-1407 秋田県秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3-127

TEL 018-889-8571 FAX 018-889-8575

E-Mail shikaku-s@akita-pref.ed.jp

「秋田県版スマートサイト」ってなんだろう？スマートサイトと聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。インターネットサイトのこと？格好いいサイトってこと？…いえいえ、実は、このリーフレットのことを指しています。

さて、このスマートサイトですが、現在、全国各県で続々と作成され始めています。2005年にアメリカの眼科学会が推進プロジェクトを立ち上げたのが始まりでした。見えにくい方が、相談支援先の情報を得て、社会参加や社会復帰につなげていくことが大きなねらいです。

日本には、2007年に導入され、各県で様々な様式で作成されています。

本県でも見えない見えにくい方への支援システムの構築を目指し、医療、福祉、労働、教育、当事者団体、ボランティア団体等の関係機関で「秋田県スマートサイト推進委員会」を設立しました。本校は、スマートサイト推進委員会の事務局として平成28年度から運用に向けて携わっています。作成したスマートサイトは、秋田県内各地の眼科、市町村の福祉課、ハローワーク、視覚障害者協会、点字図書館などで配付しています。今年は、運用して2年目に入るわけですが、広く視覚障害者の方に活用していただけるように、これからも様々な場で紹介していきたいと思ひます。

詳しくは視覚支援学校ホームページをご覧ください。

見えにくくなって困っていませんか？

- 本や新聞を読みたいけど、何かいい方法はないのかな。
- 家事や趣味がうまくできなくなってきて、気持ちが沈みがちです。
- 見えにくくなって、外に一人で出かけることができなくなってきました。
- 見えにくくなってきて、このまま仕事を続けられるか心配です。
- パソコンの操作が難しくなってきました。
- 子どもが見えにくいので、小学校の入学はどうすればいいか心配です。
- 外に出ると光がまぶしくて、車の運転や歩くのに不安を感じてきました。

「Smart Sight™(スマートサイト)」とは、アメリカ眼科学会(AAO)が推奨しているシステムです。そのリーフレットには、視覚に障害のある方々への、保有視覚の活用や、関係する支援機関など生活に役立つヒントが記載されています。秋田県でも、平成28年度に推進委員会を設置して、検討を重ねてきました。是非ご利用いただきたいと思ひます。

ご家族や職場の方々へのお願い

自らは、いろいろな働きがあります。「視覚」とは、視力のほかに、視野、光覚、色覚、両眼視、調節力などを言ひます。

視覚に障害があるということは、このいずれかの機能に課題がある場合や、視力と視野の両方または、複数の機能に課題があり、日常生活や就労などでなんらかの支障をきたしている状態を示します。こうした支障は、目のものの状態が原因であるだけでなく、脳や内臓的な病気のためにおきることよくあります。

例えば、視野の障害では、視野全体が狭くなったり、中心部分が見えなくなったり、逆に中心部分しか見えなくなったりする場合があります。また、片側半分が見えなくなったりすることもあります。

さらに、視力のものには大きな問題がなくても、明るい見えにくいことや、夕方や薄暗い場所で見えにくくなったり、見ようとするものがぼんやり見えたりするなどの症状もあります。

このような様々な症状であることから、自分の視覚の障害を他人にうまく伝えられないという実情があります。その結果、自分一人で問題を抱えてしまい、家庭や職場の中で孤立を感じている方が実はとても多いです。

視覚に障害のある方々の話を丁寧に聞いてください。そして、悩みがある場合は、一人で抱えずに、この「スマートサイト」を開いてみてください。

◇どこに連絡したらいいか迷った場合、まずは、次の事務局にご相談ください。

秋田県立視覚支援学校
ロービジョン支援センター
TEL.018-889-8571
E-mail shikaku-s@akita-pref.ed.jp

秋田県版スマートサイト

見えにくい方とともに

秋田県版スマートサイトは、見えにくい方の相談・支援先をご紹介するリーフレットです。

音声コード(Uni-Voice)は、対応機種やスマートフォン・タブレットのカメラで2次元バーコードを読み取り、音声で文章の内容を確認することができます。

まずは、ご相談下さい！ 一緒に考えましょう

つながる、つなげる、 秋田県版スマートサイト

福祉

●各市町村の福祉課
障害の状態に応じた福祉サービスが受けられます。身体障害者手帳は、身体に障害のある方が、様々な福祉サービスを利用するために必要な手帳です。

●秋田県福祉相談センター
【相談専用ダイヤル】TEL.018-831-2940
福祉サービスやこころの健康、生活などに関する様々な相談に対応しています。児童相談所、女性相談所、精神保健福祉センター等と連携をとりながら、必要に応じて専門機関のご紹介や情報提供を行います。

●秋田県点字図書館
TEL.018-845-0031
目の不自由な方々のために点字図書、録音図書などを備え、貸し出しを行う「視覚障害者情報提供施設」です。
※図書費サービスは、電子版の取り扱いが可能な点字の点字、点字資料を作成するなど様々なサービスがあります。

●秋田県視覚障害者福祉協会
TEL.018-864-2783
視覚障害のある方の社会参加と自立を促進する活動、社会奉仕を行っています。また、視覚障害者だけでなく、最近見えにくさになる方、視覚障害に関心のある方に対して、様々な情報を提供しています。

●日本盲人会連合 総合相談室
TEL.03-3200-0011
視覚障害に精通した当事者や医師・弁護士などにより専門的な相談をしています。また、日常生活用具や福祉用具の紹介も受け付けています。

労働

●ハローワーク
地域のハローワーク窓口で、「働くためには、どうしたらいいか」をご相談ください。相談内容と、様々な障害の状態におおいた職業相談、紹介、アドバイス、連携機関の情報提供等を行っています。

●秋田障害者職業センター
TEL.018-864-3608
就職や職業訓練に向けての相談、職業能力の評価、就職前から就職後の職業適応のための援助等を行っています。

●障害者就業・生活支援センター
就業及びそれに伴う日常生活上の支援を必要とする障害のある方に対し、職業準備訓練のあっせんや、就業に関する助言や相談、就業に伴う生活相談を行います。秋田県内には8つの障害者就業・生活支援センターがあります。

●就労移行支援事業所
一般企業への就職をサポートする通所型の福祉サービスです。手帳の有無にかかわらず、医師の診断や自治体の判断など課題に密着して認められる方がご利用になれます。

医療

●秋田のロービジョンケア
●県内の眼科医
通院先の眼科で「どんなことで困っているか」を具体的に話すことで、適切な相談先についての助言が得られます。また、ルーペや拡大読書器、単眼鏡、拡大読書器などの視覚補助具に対応する県内の眼科医療機関は、日本眼科医会のホームページ「秋田のロービジョンケア施設」から探すことができます。

教育

●学習に不安がある
●理療の仕事に興味がある
●点字や白板による歩行を習得したい
●秋田県立視覚支援学校(ロービジョン支援センター)
TEL.018-889-8571
乳幼児から成人の視覚障害者の方、保護者や家族の方に対して、相談・支援活動を行っています。育児、就学、学習、生活環境、進学、進路等について、不安や悩み、ご質問がある方は、ご連絡ください。

